

第14回 さいたま子ども短歌賞

応募期間 令和8年7月17日(金)～令和8年9月3日(木)まで

感
じ
た
こ
と
を
三
十
一
音
で

明

あ

空

阿

西

あ

安

主催 さいたま市教育委員会
協賛 埼玉県歌人会 埼玉県芸術文化祭実行委員会
後援 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉新聞社

インターネットからも応募できます▶



第14回さいたま子ども短歌賞 応募要項

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ

伝統的な言語文化の継承を図るために

さいたま子ども短歌賞を実施し作品を募集します

短歌作品を応募票に記入してお送りください

★ 対象

全国の小・中学生

★ 応募期間

令和8年7月17日(金)から

令和8年9月3日(木)まで

★ 応募のきまり

・所定の応募票を使用してください。

※応募票のコピーや、市ホームページからダウンロードしたものの使用は可とします。

ただし、用紙サイズはA4とし、縮尺は変更しないでください。

・1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。

・応募作品は未発表の自作短歌に限ります。
ただし、学校の授業で創作した作品は可とします。

・他の短歌コンクールとの二重投稿や、既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。

・応募のきまりに反する場合は、入賞を取り消すことがあります。

★ 選考委員

沖 ななも (歌人)

佐伯 裕子 (歌人)

外塚 喬 (歌人)

★ 賞

優秀賞 20首

賞状、図書カード (3,000円分)、
作品集を贈呈します。

入選 80首

賞状、作品集を贈呈します。

★ 発表

入賞者は、委員による選考後 11 月下旬頃に決定します。

入賞者本人へ学校を通じてお知らせするとともに、在籍校の学校長宛てに通知することで発表とします。

★ 表彰式

表彰式を次のとおり開催します。

期 日 令和9年1月17日(日)

会 場 さいたま市青少年宇宙科学館
青少年ホール

★ 作品集

入賞作品 100 首を掲載した作品集を作成します。

作品集には、作品とともに作者名、学校名、学年を掲載します。

★ 作品の取扱い

・応募作品の著作権は、さいたま市に帰属します。

・応募作品の原稿(応募票)は返却しません。

・入賞作品は、さいたま市ホームページ、本市刊行物等で作者名、学校名、学年と併せて掲載します。

・応募に際して取得した個人情報、さいたま市教育委員会が実施する短歌に係る3つの事業以外の目的では利用しません。

*「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業
～Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)～」
さいたま子ども短歌賞、さいたま短歌フォーラム、現代短歌新人賞(詳細は市ホームページをご覧ください。)

☀ 応募先・お問合せ先

さいたま市教育委員会事務局生涯学習振興課 電話 048-829-1705 FAX 048-829-1989
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会事務局「『自分発見!』チャレンジ up さいたま」スタンプ事業です。

第14回さいたま子ども短歌賞応募票

※三首まで応募できますが、入賞は一人一首です。

①

②

③

短歌の基本は「五七五七七」だけど、「字あまり」「字たらず」でも大丈夫！大きな字ではっきり書いてね！！

がっこうめい がくねん くみ
■ 学校名、学年、組

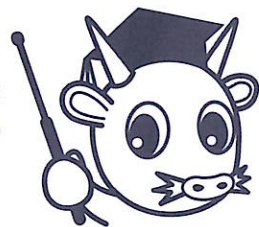
がっこうめい 学校名	しりつ 市立 りつ 立	がっこう 学校	がくねん 学年	くみ 組
---------------	----------------------	------------	------------	---------

しめい
■ 氏名(ふりがな)

(ふりがな)	
しめい 氏 名	

※この応募票は A4 サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。

3つのステップで短歌を詠んでみよう！



? 短歌ってどんなもの？

心^{こころ}を動か^{うご}される景色^{けしき}や出来事^{できごと}などを、五^ご・七^{しち}・五^ご・七^{しち}・七^{しち}の三十一文字^{さんじゅういちもじ}で言い表^いした詩^しです。

【例：声^{こゑ}に出^だして読^よんでみよう！】

「寒いね」と 話^{はな}しかければ 「寒いね」と 答^{こた}える人^{ひと}の いるあたたかさ (俵^{たわら} 万智^{まち}『サラダ記念日』より)
5文字 7文字 5文字 7文字 7文字

STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌^{たんか}にしたいか考^{かんが}えてみよう。

自分^{じぶん}の好きなこと^すや、楽し^{たの}かったこと^{かんどう}、感動^{きんどう}したことなど、自由^{じゆう}に選^{えら}んでみてね。

テーマの例

- | | | | |
|---|--|---|---|
| がっこう
・学校 ^{がっこう} でのできごと | かぞく ともだち
・家族 ^{かぞく} 、友達 ^{ともだち} | す
・好きなスポーツ ^す | どうぶつしょくぶつ
・動物 ^{どうぶつ} 、植物 ^{しょくぶつ} |
| い ばしょ
・行 ^い ってみたい場所 ^{ばしょ} | なつやす おも て
・夏休 ^{なつやす} みの思 ^{おも} い出 ^て | しょうらい ゆめ
・将来 ^{しょうらい} の夢 ^{ゆめ} | けしき ふうけい
・景色 ^{けしき} 、風景 ^{ふうけい} |

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決^きめたテーマから思^{おも}いつく言葉^{ことば}を、た^かくさん書^かいてみよう。

このとき^{もじ}は、文字^{かず}の数は気^きにしない^{あたま}で、頭^かにうか^{ことば}んだ言葉^かをた^かくさん書^かこう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2 で集^{あつ}めた言葉^{ことば}を組み合^くわせて、「五^ご・七^{しち}・五^ご・七^{しち}・七^{しち}」に当^あてはめ^あてみよう。

でき上^あがったら、声^{こゑ}に出^だして読^よんでみる^よといいよ。

※字余^{じあま}り（文字数^{もじすう}が多いこと）・字足^{もじすう}らず（文字数^{もじすう}が少ないこと）でも大丈夫^{だいじょうぶ}！

伝^{つた}えたいことが表^{ひょうげん}現^{げん}できるように、いろい^{ことば}ろな言葉^{ため}を試^{ため}してみ^ねてね。

じょうきゅうしゃ

上級者のあなたへ

ひょうげん

いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- | | |
|---|---|
| ① 比 ^{ひゆ} 喩 ^ゆ （たとえる） | 例：「雪 ^{ゆき} 」の比 ^{ひゆ} 喩 ^ゆ ⇒「白 ^{しろ} い綿 ^{わた} のよう ^{ゆき} な雪 ^{ゆき} 」 |
| ② 体言止 ^{たいげんど} め（最後 ^{さいご} が名詞 ^{めいし} で終 ^お わる） | 例：「空 ^{そら} が青 ^{あお} い」の体言止 ^{たいげんど} め⇒「青 ^{あお} い空 ^{そら} 」 |
| ③ 対句 ^{ついぐ} （同 ^{おな} じ構 ^{こう} 成 ^{せい} の語 ^ご を並 ^{なら} べる） | 例：おじいさんは山 ^{やま} へ芝 ^{しば} 刈 ^か りに、おばあさんは川 ^{かわ} へ洗 ^{せん} 濯 ^{たく} に |
| ④ 擬音語 ^{ぎおんご} ・擬態語 ^{ぎたいご} （音 ^{おと} や様 ^{よう} 子 ^す を表 ^{あらわ} す） | 例：わくわく、どんより、ガタン、もりもり |
| ⑤ 漢字 ^{かんじ} とひらがな ^{ひらがな} の使 ^{つか} い分 ^わ け（あえてひらがな ^{ひらがな} を使 ^{つか} うと、やわらかい印象 ^{いんしょう} になるよ） | |